PETER DAVID BETER・音声書簡 第17号

1976年10月26日

テーマ1 レッドフライデーとブラウン将軍に対するキャンペーン

1 ベターはジョージ・S・ブラウン将軍が海上ミサイルの脅威に反対したと評価している。



2 首相は、9月16日の会合で48のミサイルが新たに報告されたと述べました。



3 元インタビューの復活をブラウンに対するキャンペーンと解釈している。



4 ベターは10月1日をレッドフライデーと呼び、フォードの政治的トラブルとグロミーコの訪問を結びつけた。



5 ノーフォーク近郊でソ連の小型潜水艦が故障したため、同氏が再就役を許可したと、同長官は主張する。



6 ミサイル撤去は停止し、軍事報道官は自身の主張を否定するように命令されたと、同氏は言います。



7 彼はこれを、アイルランドがソ連のトロールを拘束し、イギリスの脱退を主張したのとは対照的である。



8 フェニックス・ミサイルとF14について話し合い、ブラウンへの支援を要請する。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第17号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第17号

1976年10月26日

テーマ2 ベターの化学戦争の疑惑は

1 10月が中国の核実験に帰着するという、より良い紛争報告。



2 彼は豚インフルエンザキャンペーンを、疑惑のカバーストーリーにリンクしている。



3 彼は電子工作員たちの間で説明のつかない病気について話しています。その多くは女性です。



4 フィラデルフィアでのレジオネラ症の集団発生も意図的に引き起こされたと主張した。



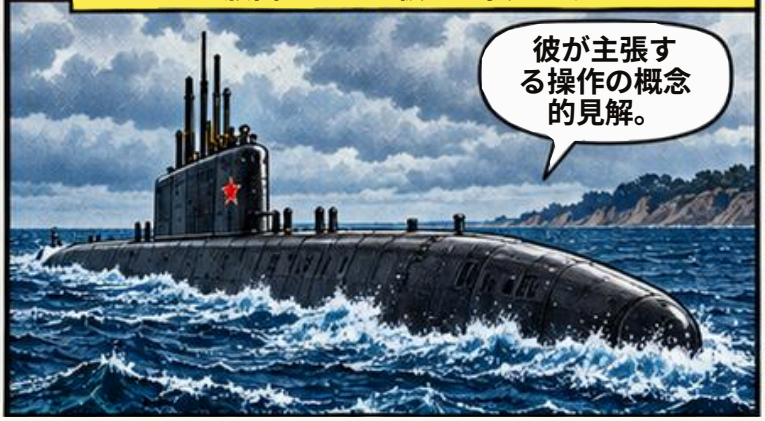
5 マクガイアを出発した後、2機のC-141事故の背後にある破壊行為を主張する。



6 ベターはノックス砦と化学兵器の研究を彼の幅広い説明に結びつける。



7 ソ連潜水艦が10月3日にアメリカ沿岸でプルトニウムを放出したと、彼は主張する。



8 風が異常に強かったため、実験は中断され、曝露は減ったと、彼は言います。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第17号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第17号

1976年10月26日

テーマ3 1976年のベターの幻の選挙シナリオ

1 Beterは、ネルソン・ロックフェラーが大統領になるための最終計画を持っていると主張している。



2 メディア報道は、有権者を抑止し、密接な結果を生み出すことを目指していると、彼は言います。



3 12月13日に予定されている選挙人団選挙戦に焦点を当てている。



4 1月6日は270票を獲得する候補者はいない。



5 ベター氏は、議会が時間内に大統領と副大統領を選ばないかもしれないと予測する。



6 ロックフェラーは1月20日以降大統領代行に就任する可能性があると推測している。



7 彼は、非常事態の規則と独裁の恐れに11921年大統領令をリンクします。



8 どちらの候補者も決定的な勝利を挙げれば、その計画は破られるだろうと、彼は言います。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第17号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。